
最愛なる家族への手紙

れいじん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最愛なる家族への手紙

【コード】

N8938G

【作者名】

れいじん

【あらすじ】

事故にあった男性の最後の手紙とその現場に居合わせた救急隊員の物語

どうか神様がいるのなら、僕たちを助けてください。
と手紙に書かれてあった。

その2枚目には「最愛なる家族へ」と名づけられた手紙が殴りが
きしてある

ゆうきへ…

お兄ちゃんなんだからお母さんの言う事はきちんと聞いて、弟た
ちの面倒も見るんだぞ。ゆうきともっとキャッチボールをしたかた
なあ

まきへ

ゆうきと一緒にお母さんを助けてあげてね。まきの作る卵焼きの
味はわすれないからな

だいすけへ

まだ、生まれて一年ちょっとだけとお父さんは、お前の手の暖か
さを忘れない

さおりへ

もう俺は助からないであろう。まだまだ幼い子供たちもいて大変
だと思うけど、俺はお前と逢えた事を後悔なんてまるでしてないよ。
愛してるて言葉だけじゃ語りつくせない感情でいっぱいだよ。今ま
でありがとうな

3枚目には

何故、私たちがこのような災難に遭わないといけないんだろう。
神様がもし本当にいるのなら私たちを助けてください。家族ともう

一度逢わせて下さい。

もしくは早く私を連れて行ってください。刻一刻と自分の生命が失われていくのを実感するのは辛すぎです。

手紙はそう書き綴られ男の手に握り締めてあった……

きっとこの男性が、最後の力を振り絞って書いた家族への思いだろう。次の電車に乗っていれば事故に会わないでかもしれない。前の電車に乗っていても会わなかったかもしれない……

運命とは時に人を傷つけ、悲しませる。

人々は過酷な運命を背負って生きていく。それは死ぬまで背負い続ける宿命なのだろう。

神様がいるのなら、この電車に誰も乗っていなかった事にしてあげてください

余りにこの現場は見るに耐えられないです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8938g/>

最愛なる家族への手紙

2010年10月10日05時44分発行